

第十八回総会 創立五十周年懇親会 感謝状受賞ご挨拶

本日は、公益社団法人 全国火薬類保安協会第十八回総会が無事終了し、全火協創立五十周年を迎えられたこと、誠におめでとうございます。また、経済産業省 技術総括・保安審議官太田雄彦（おおたけひこ）様はじめ経済産業省の皆様、関係者の皆様ご臨席のもとに、創立五十周年記念懇親会において感謝状を頂く光栄に浴し、有難く感謝申し上げます。

防衛省の演習場をお借りしての大規模な爆発実験や事故、OECD—IGUS の会合に携わり、各国の火薬の専門家と議論してきたことなどを懐かしく思います。

かつては火薬類で大きな事故が発生することがありましたが、冒頭に会長のご挨拶で照会されたとおり、事故の反省を生かし再発防止を徹底することで、事故の発生を大幅に減少し、被害の程度を極小化し、死亡事故ゼロ、製造中の事故ゼロを継続していることは、火薬類の保安に携わってきたものとして感無量であり、全火協、経済産業省をはじめ関係者の皆様の並々ならぬたゆまぬご努力の賜と敬意を表するものであります。

火薬類をとりまく社会環境の変化、技術の進歩などに対応しながら、全国火薬類保安協会がその役割をはたしてきたことは、誠に喜ばしく思いますとともに、本日、このような感謝状を頂きましたことに、受賞者一同深く感謝いたしているところであります。

全国火薬類保安協会におかれましては、今後ともなお一層、自主保安の推進、火薬類事故・災害の更なる低減へ向けてのご活躍を祈念申しあげまして、受賞者を代表し、お礼の言葉といたします。

本日は誠にありがとうございます。

令和三年六月二十二日

田 村 昌 三